

平成25年度 一般会計 決算

総質疑数235件（本会議118件、委員会117件）

《主な質疑》

「花いっぱい運動」の花の優先購入先は

問 障がい者団体等から、優先的に花を購入する考えは。

答 品質と数量の確保が難しいときもありますが、行政区に説明をし、優先的に購入するようにしていきたいです。

病児病後児保育の実績は

問 子育てに関してのニーズ調査などでは、施設・病院での預かりを望む声が多いが。

答 病児病後児保育としての利用者はありません。人の配置や施設のスペース的な問題もあり、難しいです。

子宮頸がんワクチンの接種率は

問 子宮頸がんについて積極的勧奨は行なっていないと思うが、接種率はどうか。当町において、健康被害は出ていないか。

答 対象者は228人ですが、実際に受けた方は25人です。個別通知は行なっていない。副反応の報告は出ていません。

有害鳥獣駆除

問 現状と今後の計画は。

答 アライグマ・ハクビシンは、ほぼ横ばいです。猪や鹿の捕獲量の増加が続くため、今後も計画的に進めます。

中学校社会体験チャレンジ事業

問 平成24年までの保険料がなくなっているが。

答 学校生活に対応した保険で対応可能のため、削減しました。

パトリアおがわ

問 利用者が減っているが。

答 高齢化が進む中、ライフスタイルの多様化もあり減っています。スペース等の調整をし、健康器具導入も踏まえて、運営懇話会等で検討していきたいと思っています。

学校給食センター

問 建物の老朽化が進んでいるが。

答 規模からすると改築に相当な金額が必要です。アセットマネジメントを含めて、総合的に判断をして進めていきたいと思っています。

旧上野台中学校の活用は

問 平成25年度の利用実績は。

答 体育館を利用している3団体（バレーボール1団体・バスケットボール2団体）では、延べ177回の利用がありました。また、学校管理下の事業として、東中学校の部

活動利用（バレー・剣道・サッカー・野球・ソフトテニス各部）では、平日の放課後・土日祝日の利用がありました。あわせて、行政の主催事業や地元自治会の行事等では、グラウンドや駐車場の使用がありました。

予備費の流用

問 55%程度が流用されているが理由は。

答 大雪による除雪費用、行旅死亡人の捜査費等、緊急やむを得ない場合の支出でした。

2月の雪

問 想定外の降雪だったが、除雪費用は。

答 1068万9278円でした。



大雪となった2月14日からの降雪

平成25年度 特別会計 決算

《主な質疑》

国民健康保険

問 特定健診受診率が向上したが、どのような工夫をしたのか。

答 啓発のチラシを商店街に協力していただき掲示をしたり、町もイベントに参加して啓発しました。また、未受診者に対して受診勧奨はがきを送付した効果が大きいと思っています。

問 人間ドックの申し込みが、すぐにいっぱいになってしまふ。定員を増やしては。

答 補助額を下げて、定員を増やすなどの検討をしてもよいかと考えます。

介護保険

問 閉じこもり予防事業の内容は。

答 社会福祉協議会に委託し



はつらつクラブで交流を（高校生がボランティアで参加）

た、はつらつクラブで、体操やレクリエーション・健康づくり・交流を行なっています。小川2カ所・大河・竹沢・八和田・みどりが丘・東小川の7カ所で実施しました。

《主な質疑》

町立保育園の遊具を更新

問 詳細は。

答 現存の遊具は、八和田保

平成26年度 一般会計 補正予算

学童保育の開所時間の延長

問 補助の詳細と延長にかかる利用料の負担は。

答 補助対象は、18時30分を超えて事業を行なう場合で、延長分の賃金の増加に必要な経費を補うものです。また、開所時間中の賃金改善分として、学童クラブで従事したガイド・指導員・職員の処遇改善の一端を担うものと考えます。後段については、各学童クラブにおいて延長分の利用料に差異があるので、協議し対応していきます。

栃本堰の警報装置

問 設置の理由は。

答 現在、緊急時に堰を稼働する際は、3名以上の職員で対応しています。その人員の負担軽減と、放送装置・警報ランプの設置を図り、できる限り流域での水害を防ぐためです。

予防接種事業

問 水痘（水ぼうそう）ワクチンの定期接種と、経過措置の考え方は。

答 対象は1歳から3歳までとなります。経過措置として、今年度に限り3歳から5歳の未接種者に対して1回行ないます。水痘患者の多くが5歳未満の幼児であること、及び1回の接種で重症水痘は大部分が予防できることを踏まえ、国の接種方法に基づいて実施します。